

施政方針



うるま市長
島袋 俊夫

1. 市政運営の基本姿勢と 昨年の振り返り

本日、第112回うるま市議会定例会が開催されるにあたり、平成29年度予算案をはじめとする各議案の説明に先立ちまして、私の市政運営に対する所信と主要事業の概要を申し上げます。

私は、平成21年5月の市長就任以来、今日まで2期8年にわたりうるま市民の先頭に立ち、様々な行政課題の解決に向け、「うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり」をスローガンに掲げ、次の3つの基本目標の実現を目指してまいりました。

1つ目の目標である「**経済の活性化と失業率の改善**」については、経済の活性化に向け、積極的な公共インフラ整備による投資や住宅リフォーム

商品券事業等を引き続き行い、本市の建設業並びに商工業の活性化を図ってまいりました。

同時に中城湾港新港地区への企業立地を進めるとともに、市産品の販路拡大・新商品開発など物産振興による市内事業者の経営の安定と新規創業者の支援などにも取り組んできました。

今年度は、次の10年を見据えた「観光振興ビジョン」「農業振興ビジョン」「産業振興計画」を経済振興の柱として策定しております。

また、本市の大きな課題である「失業率の改善」については、就労支援・雇用対策としてこれまでの事業を継続するとともに、キャリア教育と就労支援を統合し、年齢に応じて一貫した支援を行っていく「就労支援事業」を新たに創設しました。本市の雇用対策の3本柱として「就業意欲の向上」「雇用の創出」「ミスマッチの解消」を掲げ、失業率の改善に取り組んでおります。

さらに就労支援については、「うるま市失業対策アクションプラン」に基づき、ふるさとハローワークや街角コネクタクトセンターにおける求人情報オ

ンラインシステムを活用した職業斡旋業務をはじめ、各種人材育成事業などに取り組みました。

これらの成果として、平成28年度も1千人を超える新規就業者を見込んでおり、本市の経済・雇用の好循環に繋がってきました。

2つ目の目標である「**教育・子育て支援の拡大**」については、学校整備事業として、勝連小学校増改築事業に着手するとともに、引き続き高江洲小学校及び天願小学校の増改築事業に取り組みました。



【3月に落成式を迎えた高江洲小学校校舎】

また、赤道小学校の基本設計業務、宮森小学校の基本設計業務に着手し、子どもたちの安全を確保するため、校舎等の整備事業を推進しました。

【宮城島の自然】

